（参考様式3）参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	津野町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度 （5年間）	交付対象	津野町

津 野 町 全 図

（表紙）

別添

計画名：津野町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）

都市防災事業計画

都市防災総合推進事業（東地区外１地区）

当初

高知県津野町

令和2年1月9日

（様式1）整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

（町内全域及び事業地区における防災上の現状及び課題）

津野町は平成17年2月1日に当時の東地区（葉山村）と西地区（東津野村）が合併して発足した新しい町です。位置は高知県の中西部にあり、東は須崎市、北は佐川町、越知町、仁淀川町及び愛媛県境、西は檮原町、南は四万十町に接しており、東西28．1km、南北15．4km、面積は197．85k㎡となっています。

本町は総面積の89.5%が林野で占められており、不入山(いらずやま)を源流点とし“日本最後の清流”といわれる「四万十川」及び、既に絶滅したといわれるニホンカワウソが最後に見られた「新荘川」が流れ、農用地及び宅地は、この2つの川沿いの緩やかな山裾を利用して点在しています。また、西北部には、日本三大カルストのひとつ「四国カルスト・天狗高原」があり、大変自然豊かな地域といえます。

気象については、東地区と西地区では若干異なります。東地域は年間平均気温約16℃、冬季には山間部で10cm程度の積雪もありますが、集落が散在する標高70～300mでの積雪はあまり見られず、積雪日数は5日以内です。一方、西地域は年間平均気温約14℃、冬季は東地域に隣接する一部地域を除いて積雪がよく見られ、冬用タイヤ(スタッドレスタイヤ)を装着している自動車を多く見かけます。また、両地域とも年間降雨量が3，000㎜を超え、例年夏～秋季にかけては台風等による風水害が多く発生し、多大な被害が引き起こされています。

本事業地区においては、山間部が多く、急傾斜地のがけ崩れなど土砂災害による道路通行止め等の被害が毎年発生している。

近い将来に発生が予想される南海トラフ地震最大規模の想定においては、津野町内では最大震度6強が想定され、津野町全域における死者は70人、揺れ（家屋倒壊等）による死者は70人、同負傷者は480人、急傾斜地崩壊による負傷者は10人と想定されている。また、山間部では、急傾斜地でのがけ崩れによる住家被害はもちろんのこと、道路・橋脚等も損壊し孤立する集落が発生することも想定される。「南海トラフ地震」による甚大な被害への対策は無論のことだが、近年は豪雨等の「水害」「土砂災害」による甚大な被害もあり、避難所への避難経路を確保するとともに安全で安心な避難所の整備が早急に求められている。

現在、災害対策本部となる津野町役場本庁舎の改修等を検討中であり、令和元年度より防災の要である高幡消防組合津野山分署葉山出張所の移転・新築工事に着手している状況にある。

【整備方針】

（町内全域及び事業地区における防災上の課題解決のための整備方針）

津野町では、平成27年2月に、住民参加の下「津野町第Ⅱ期まちづくり計画」を策定し、津野町の将来像として「～融合から飛躍へ～風とともに地域きらめく協働のまち」を念頭に各施策を策定している。なかでも、まちづくりの基本計画として「自然と調和するまちづくり」を掲げ、安心・安全に暮らせるまちとするため、行政と住民が協働で防災・減災に取り組むことを目指しています。また、平成27年3月に策定した、「津野町地域防災計画 地震対策編」の中でも、指定避難所の耐震化、必要な物資や資機材の整備等を図り、要配慮者や男女のニーズの違い等、多様なニーズに十分配慮した物資や資機材整備を進め、住民に対し、あらかじめ避難所の運営管理のために必要な知識等の普及に努めることとしています。

本計画に基づき、東地区で2箇所、西地区で2箇所、計4箇所で指定避難所の環境整備及び防災拠点等の避難所整備に着手する。

また、大規模災害時の物資受入れ可能な施設が少なく、物資の拠点となる施設は集約化することが望ましいと考えていることから、東地区、西地区において防災備蓄倉庫を各1箇所、合計2箇所を計画し、町内で拠点となる防災備蓄倉庫としての位置付けとともに、各方面からの災害時救援物資の受け入れ先、各避難所への配送拠点として使用する。

（様式2）計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	津野町	計画期間	令和2年度～令和6年度
担当部局名	－　部(局) 総務 課 － 係	担当者	小川　悟	連絡先	TEL　0889-55-2311 FAX　0889-55-2022 e-mail　soumu@town.kochi-tsuno.lg.jp

事業区分		事業主体	事業地区名	地区面積（ha）	都市防災総合推進事業における事業期間		補助率	補助事業費（予定）額	
					開始年度	終了年度		（参考）事業費	（参考）国費
地区公共施設等整備	緊急地区避難施設（直接）	津野町	東地区（宇津ヶ藪） 避難所　Σ N=1箇所	6,648	令和4年度	令和5年度	1／2	24.0	12.0
			東地区（永野） 備蓄倉庫　Σ N=1箇所	6,648	令和5年度	令和6年度	1／2	85.0	42.5
			東地区（杉ノ川） 避難所　Σ N=1箇所、用地費	6,648	令和2年度	令和3年度	1／2 用地1／3	36.0 （1/2:34.0、1/3:2.0）	17.6 （1/2:17.0、1/3:0.6）
			西地区（船戸） 避難所　Σ N=1箇所	13,137	令和3年度	令和4年度	1／2	24.0	12.0
			西地区（新田） 避難所　Σ N=1箇所、備蓄倉庫　Σ N=1箇所	13,137	令和2年度	令和6年度	1／2	119.0	59.5
合計								288.0	143.6

注） 補助事業費について百万円単位。

注） 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

（様式3）関連事業［都市防災上の課題解決に関連する事業］

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模（面積、延長、幅員等）	総事業費（国費ベース）	事業期間		事業実施状況	重点密度市街地の有無
					開始年度	終了年度		
社会資本整備総合交付金 C事業（効果促進事業）	津野町	全域	避難所備蓄品整備（毛布、パーティション等）	10.0 （5.0）	R4	R6	防災備蓄倉庫整備後	無

注） 補助事業費について百万円単位。

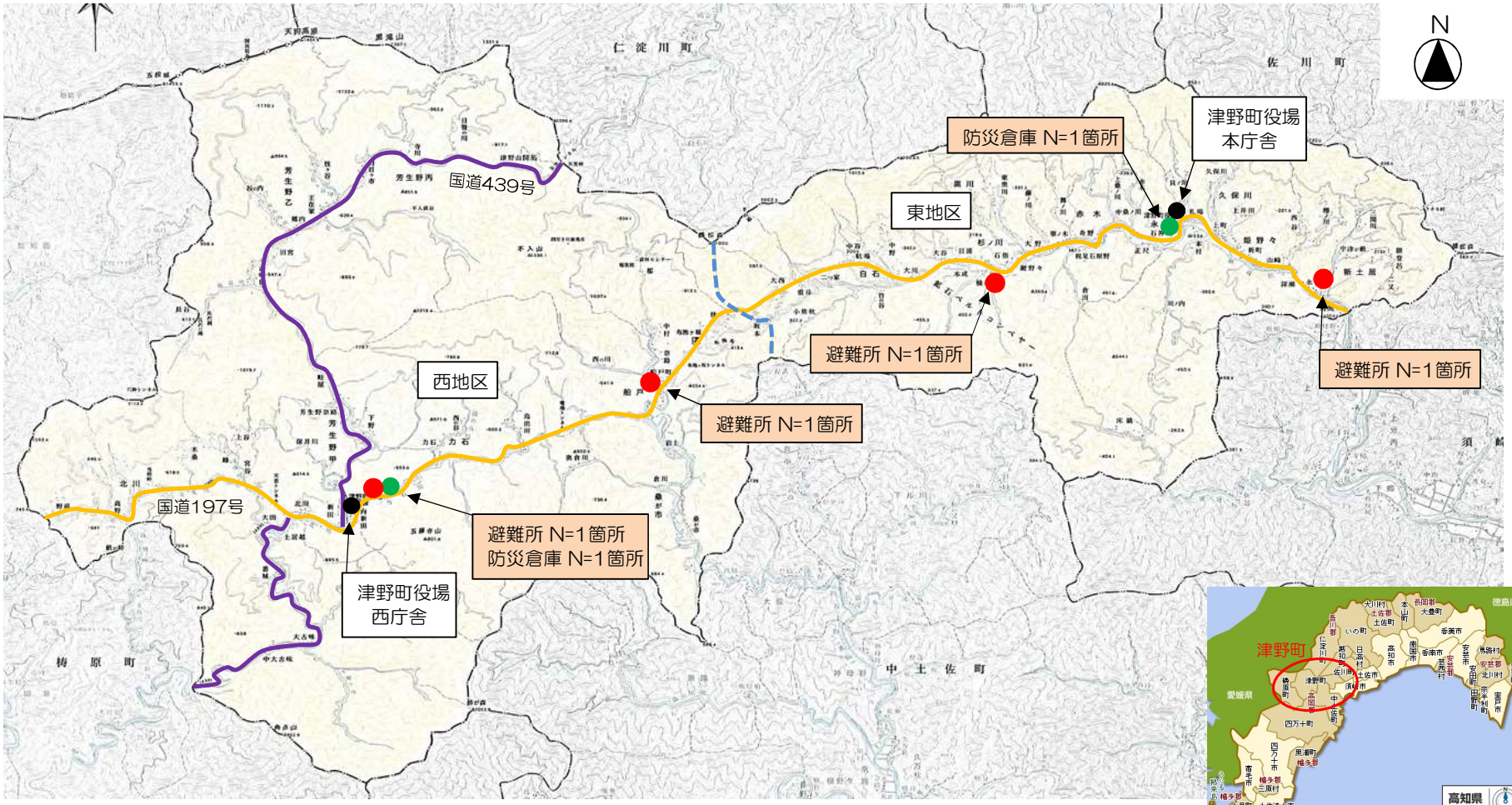
（様式4）年度別事業計画

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【百万円単位】

事業区分		事業主体	事業地区名 整備内容	重点密集市街地	補助率	補助事業費（予定）額（国費）					
						R2	R3	R4	R5	R6	計
地区公共施設等整備	緊急地区避難施設（直接）	津野町	東地区（宇津ヶ藪） 避難所　ΣN=1箇所	×	1／2	－	－	12.0	－	－	12.0
			東地区（永野） 備蓄倉庫　ΣN=1箇所	×	1／2	－	－	－	2.0	40.5	42.5
			東地区（杉ノ川） 避難所　ΣN=1箇所、用地費	×	1／2 用地費1／3	－	17.6	－	－	－	17.6
			西地区（船戸） 避難所　ΣN=1箇所	×	1／2	－	12.0	－	－	－	12.0
			西地区（新田） 避難所　ΣN=1箇所、備蓄倉庫　ΣN=1箇所	×	1／2	17.0	－	2.0	40.5	－	59.5
合計						－ 17.0	－ 29.6	－ 14.0	－ 42.5	－ 40.5	－ 143.6

（様式6） 現況図 等（津野町全図）

地区名	東地区、西地区	面積	19,785ha	区域	高知県高岡郡津野町



地区名	東地区 （宇津ヶ藪）	面積	3,039ha	区域	高知県高岡郡津野町

東地区
緊急地区避難施設整備－１
・避難所新築（屯所併設）　N=1箇所

災害時収容人数：20名
（有効利用面積÷３）
施設対象地区：東地区（宇津ヶ藪）

目的：　大規模災害に備え、宇津ヶ藪地区の住民の方が確実に避難できるようにするために避難所を整備するもの。
　また、防災拠点として一体化するため、整備する避難所に消防屯所を併設する。

施設概要：　平時は宇津ヶ藪地区の防災力向上を図るため、地区で消防・防災訓練等を実施し防災教育の場として活用する。
　災害時は地区住民の避難所及び防災拠点として活用する。

【施設整備イメージ】

（１階）　（２階）

【平面図イメージ】

地区名	東地区 （永野）	面積	3,039ha	区域	高知県高岡郡津野町

防災備蓄倉庫イメージ

東地区
緊急地区避難施設整備－２
・防災倉庫　N=1箇所

備蓄品：毛布、飲料水、非常食、日用品等
※効果促進事業で対応予定
施設対象地区：東地区

目的：　大規模災害に備えるための備蓄品の保管及び救援物資の受入れに対応できるよう防災倉庫を整備するもの。

施設概要：　平時は東地区の備蓄品の保管場所として活用する。
災害時は救援物資の受入れ等の物資拠点として活用する。

地区名	東地区 （鍵野々）	面積	3,566ha	区域	高知県高岡郡津野町

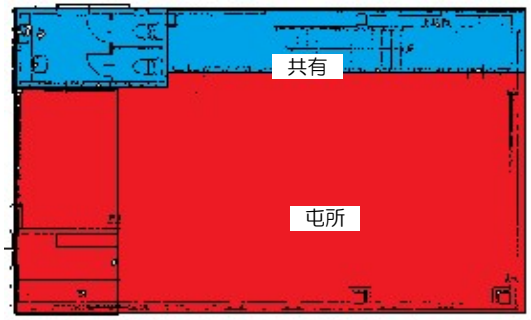
東地区
緊急地区避難施設整備－３
・避難所新築（屯所併設） N=1箇所
・用地費

災害時収容人数：20名
（有効利用面積÷３）
施設対象地区：東地区（鍵野々）

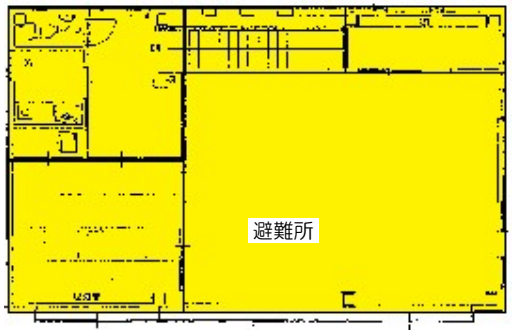
目的： 指定避難所があるが広域避難所になっており、大規模災害に備え、鍵野々地区の住民の方が確実に避難できるようにするために避難所を整備するもの。
また、防災拠点として一体化するため、整備する避難所に消防屯所を併設する。

施設概要： 平時は鍵野々地区の防災力向上を図るため、地区で消防・防災訓練等を実施し防災教育の場として活用する。
災害時は地区住民の避難所及び防災拠点として活用する。

【施設整備イメージ】



（１階）



（２階）

【平面図イメージ】

地区名	西地区 （船戸）	面積	2,565ha	区域	高知県高岡郡津野町

西地区
緊急地区避難施設整備－４
・避難所新築（屯所併設） N=1箇所

災害時収容人数：20名
（有効利用面積÷3）
施設対象地区：西地区
（下桑ケ市、上桑ケ市、西倉川、岩土、桂、船戸町、船戸奈路、中村、西の川、都）

目的： 既存の指定避難所では要配慮者を受入れるための環境整備が課題となっており、指定避難所に併設する形で、主に要配慮者の方が避難するための避難所を整備するもの。
また、防災拠点として一体化するため、整備する避難所に消防屯所を併設する。

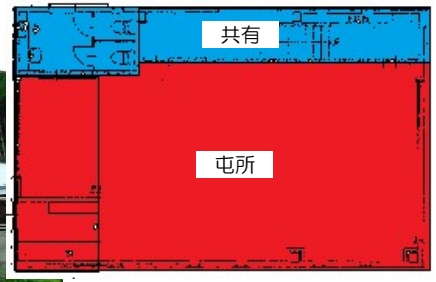
施設概要： 平時は船戸全地区の防災力向上を図るため、地区で消防・防災訓練等を実施し防災教育の場として活用する。
災害時は地区住民の避難所及び防災拠点として活用する。

【施設整備イメージ】

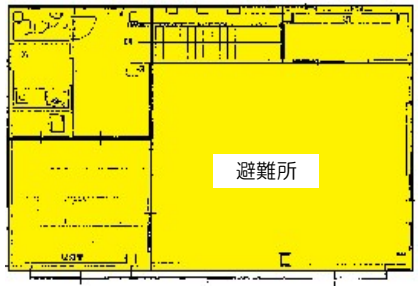
【平面図イメージ】

地区名	西地区 （新田）	面積	2,784ha	区域	高知県高岡郡津野町

【施設整備イメージ】



（１階）



（２階）

【平面図イメージ】

防災備蓄倉庫イメージ

西地区
緊急地区避難施設整備－５
・避難所新築（屯所併設）　N=1箇所

災害時収容人数：20名
（有効利用面積÷３）
施設対象地区：西地区（新田）

施設概要：　平時は西地域の備蓄品の保管場所及び新田地区の防災力向上を図るため、地区で消防・防災訓練等を実施し防災教育の場として活用する。
　災害時は救援物資の受入れ等の物資拠点、地区住民の避難所及び防災拠点として活用する。

西地区
緊急地区避難施設整備－６
・防災倉庫　N=1箇所

備蓄品：毛布、飲料水、非常食、日用品等
※効果促進事業で対応予定
施設対象地区：西地区

目的：　大規模災害に備えるための備蓄品の保管及び救援物資の受入れに対応できるよう防災倉庫を整備する。
　なお、指定避難所が付近には複数あるが広域避難所や西地域の多数の地区の避難所にもなっており、大規模災害に備え、新田地区の住民の方が確実に避難できるようにするための避難所を整備するもの。
　また、防災拠点として一体化するため、整備する避難所に消防屯所を併設する。